凡友

第52号 大阪産業大学校友会報

OSAKA SANGYO UNIVERSITY

学生・教職員のサービス向上の一環として、中央キャンパス 12 号館 1 階にオープンした「コンビニエンス・ストアー OSU」（愛称：コンビナス）

★ CONTENTS ★

TOPICS（トピックス）……3～4

凡友旅に出る …… 5
（OSULA：大阪産業大学海外研修センター）

支部レポート …… 6～7

校友の活躍ぶり拝見 …… 8～9

校友のひろば ……10
（投稿を募集しています・チャイム・ホームページ開設）

先生お元気ですか？ ……11
（堀川 健六先生・林 大行先生）

学園だより …… 12～13

大学紹介（短期大学部）…… 14

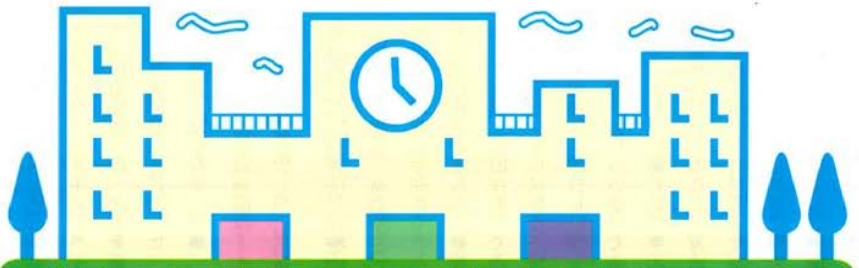
スイートカップル …… 15

私たちがんばりました！ …… 16～17

校友会活動報告 …… 18
（平成９年度予算報告・会則改正・おくやみ）

平成9年度校友会総会案内・編集後記 …… 19

●表紙の写真はアメリカンフットボール部　9月8日対京都大戦



学園創立70周年記念募金

TOPICS
トピックス

[校友会2月10日現在400件558万5千円と低調です。何卒ご賛同をお願いします!]

昨年4月から始まっております記念募金も、まもなく1年が過ぎようとしています。本年2月10日現在、学園全体の募金額は、3億8310万円。我が校友会も越意に賛同し取り組んでいますが、学園諸団体(12団体)の中で、最大の団体校友会(会員4万2千名)としては、現在のところ非常に低調であると言わざるを得ません。この募金は、会員一人ひとりから広く浅くご賛同いただくことが所期の目的です。会員の皆様には諸事情ご賢察の上、何卒早急にご賛同をお願い申し上げます。なお、すでに募金された皆様、ありがとうございました。

2月10日現在のご芳名を掲載させていただきます。 後日、校友会として記念品をお送りさせていただきます。

青木雅義／秋保善伸／芦田正之／天川重利／天野義和／安藤唱一／生田寛人／池田昌昭／石井貞幸／石田満／石丸博史／泉武志／板井千之／板原広知／市木健二／稲田直紀／井上晃宏／植田昭夫／植田英一／植田健司／宇都木正幸／梅木春雅／江里文夫／及川晴雄／大島弘二／大塚清隆／大野義次／大山口司／岡本和明／荻野茂和／荻野正人／奥坂一也／尾谷吉彦／垣本平和／角田裕／蔭山裕一／籠本泰／金山正雄／唐津登／川上清治／川戸三郎／川野裕／河村茂雄／岸博美／岸田好泰／吉川広美／木戸太一／木村義和／金野宣夫／楠本堅一／久保晃／熊谷敦史／桑名隆／小谷剛史／小寺貴志／小林利信／駒宮民平／酒井正秀／坂上英雄／里昇／佐藤亨／佐藤利博／志谷純／柴田直輝／志茂真佐子／菅行弘／瀬谷重夫／芹生充／瀧田守英／竹内幸則／武田英治／竹ノ内敏久／竹之内正浩／辰野正明／龍泉徳／田中準／田中みゆき／谷口豊／谷村健助／田村順作／津川茂／辻本裕一／寺田亮昌／飛田全彦／飛田良裕／中康行／中井隆士／中尾匡孝／中島康治／中田健一／中西昭如／中野貴司／中村康司／永井聖規／長尾吉展／長野泰史／鍋本三郎／難波幹彦／西川寿治／西村正義／西村剛／西村正人／野中崇司／萩原和彦／橋川亙／橋本剛一／橋本修洋／長谷川輝幸／長谷川修／長谷川雅生／羽東公一／林大行／林拡伸／早瀬富夫／原田正明／東洋行／樋口守義／樋口勝利／兵頭誠也／平岡三男／平川貴典／福田陽子／藤本仁／古川春馬／堀川孝／本田雄一郎／牧野央樹／牧本展政／正岡昇／正岡俊彦／政野誠治／松尾浩一／松崎泰典／松下裕二／松田篤茂／松原弘美／松本文宏／松由博／真野正英／水田実／溝田忠雄／水戸岡博武／南川廣行／宮本昌佳／村井勝／村田佳正／村野孝至／毛利清／森高志／森栄基／盛田祥太／森本隆之／柳昭彦／矢野卓哉／山内正倡／山口慎一／湯浅和哉／湯川満／吉井健一／吉川賢／渡辺清二／石田智史／請川満之／大西敏夫／小川浩二／飯島隆一／須田徹／竹島克幸／谷典人／中村文彦／堀邉／堀之内俊則／松田憲史／森本勉／山本耕司／吉田守／赤坂圭司／大河原孝夫／岡本兼之／高橋章二／永田国幸／畑江千児／松浦睦夫／渡邊益男／赤田護／阿波田眞一郎／岸本隆男／辻村典彦／西村康太郎／橋本秀輝／安村元秀／吉田泰三／青木保憲／赤崎一弘／浅井康男／浅見尚義／安藤昌史／阿武成治／井垣達也／池上清和／石川信男／石川実／石田秀雄／石田仁宏／石山慶淳／泉谷偉大／磯部太志／井藤竜生／稲田稔／井上恒夫／岩田朗／上浦正道／内田崇／内山清人／梅木俊郎／江島一史／越後昌樹／榎並真一／大橋成幸／岡謙一／岡田亮一／岡田啓源／岡本昌宏／岡本敬範／小川裕史／沖田正観／奥幹男／奥野博史／奥村忠司／奥本光春／奥脇真久／小田敏郎／柏葉昌宏／片桐一／片山友紀子／桂利三／上出孝一／上野剛志／亀中祐司／川上昇／川口広一郎／河内好博／川村幸誠／北野雅夫／北村健一／北村淳／木下照也／久世真志／國志修久／國司善和／久保純／熊谷清昭／黒田純一／小泉憲正／河野信明／小島伸介／小寺義孝／小西寿生／小原淳典／小山了二／酒上彰啓／阪本正光／笹田豊／笹部悟／澤田浩二／清水純一郎／下田和男／白藤中生／末廣秀行／菅一民／菅原泰一／杉浦健太郎／杉本登／杉本隆繁／椙本孝信／杉本裕樹／須浪毅／駿河正三／関口和栄／高杉日出喜智／高田康弘／高橋由光／高橋昌邦／武井信二／竹川竜吾／武田克流／多田幸司／田近俊敬／田力保宏／田中寿朗／田中裕之／田中将貴／谷忠司／谷上勝彦／田村静夫／田村満喜雄／溜池宏章／大道博幸／近泉悟／辻尚武／辻本武市／土川晶子／坪井丈司／手島裕之／寺岡昭雄／寺崎健志／寺田晃久／寺森修／得津貴紀／富崎英一／富田誠吾／冨田日出世／冨田博行／鳥見本剛／中嶋浩二／中島信弘／中條太樹夫／中西広之／中村成一／中村正智／中村嘉秀／中山達行／名越文彦／名富光男／西田博司／西村良夫／野間宗昵／橋本晃知／服部康雄／濱崎勲／原田昌宏／開達也／播磨好博／伴佳之／平井正二／平岡祐一朗／平岡裕司／平垣内正／平野勝也／廣瀬紀彦／福永美友／房本忠夫／藤井俊一／藤澤正文／藤田篤／藤田勇徳／古尾謙三／前幸宏／舛田健一／増田譲／増永周子／松尾清司／松田敏明／松原繁夫／松本尚久／松本浩明／松本好浩／真渕アトム／三上孝雄／三木正徳／神子素真吾／水野佳久／道下誉／光岡明弘／南口正喜／三原義司／宮野希和／宮本寿男／向井清／望月清輝／森川欣英／森下隆正／森本光春／安井貴則／安井貴彦／安田伸二／矢野宏／藪内忠興／山口泰一／山崎悟／山下弘／山下勉／山田基裕／山見哲史／山村治義／山本佳平／山本耕司／山本秀行／山本秀男／横山恵子／吉内章／吉岡正澄／吉澤武久／吉谷元啓／吉村郁男／吉村清史／米本吉一／和久田修／渡部一誠（敬称略）

※学園教職員の会員はのぞいています。

第38回代議員会

平成8年10月27日（日）午前11時から、三井アーバンホテル大阪ベイタワーで平成7年度の経過報告、決算を審議する第38回代議員会が開催されました。池田会長はじめ副会長、常任幹事、幹事、代議員および支部長ら代議員会構成員145名のうち、88名（委任状提出43名）が出席。

すばらしい幹を作り花を咲かせよう

司会は常任幹事、海老智史さん（H元経営）池田会長より「今回たくさんの新役員を迎えることができました。新役員の新しい考え方と卓越した旧役員とで温故知新のディスカッションをしながら、先輩が作ってこられた土台にすばらしい幹を作り、花を咲かせるのが私たちの役目であると考えています。また、学園では開学70周年記念募金事業が行われており、校友会でもできる限りのお手伝いをさせていただきたいと考えております。皆さまのご協力をぜひお願いします」と、挨拶ならびお願いのスピーチ。続いて議長に幹事の遠藤誠俊さん（S47機械）、副議長に井上静也さん（S43交機Ⅱ）を選出し、議事に入りました。

平成七年度決算を承認

光岡副会長が平成8年度上半期の校友会活動について経過報告。また美内副会長からは、平成7年度決算についての説明があり、表（おもて）会計監事から会計監査報告が行われました。質疑で、西村幹事より「決算書の中で、部門内の科目に赤字が出ている所がある。予算主義に基づくのであれば、科目間流用の承認を得る必要があり、そうすることが正しい会計処理である」と提案があり、全員拍手で承認されました。

平成8年度総会・パーティー 全国の支部旗を掲揚

司会は米田治さん（S54経営）。池田会長の開会の挨拶に続き、ご来賓の古谷理事長、天野学長から祝辞をいただき中山常務理事の乾杯音頭で開幕しました。

パーティー会場には全国の校友会支部旗が所せましと掲揚され、総会に出席された17支部長の紹介のあと、岡山県の芦田支部長が代表で挨拶をされました。

また、池田会長より、2期（5年間）にわたって校友会会長をされた村田相談役に、感謝の花束が贈呈されました。

第39回代議員会開催

平成9年度予算などを審議する第39回代議員会は、2月15日に宝塚グランドホテルで開催。池田会長始め、副会長、常任幹事、幹事、代議員及び支部長ら代議員会構成メンバー147名のうち、87名（委任状提出43名）の出席がありました。＝写真

司会は常任幹事の加門和彦氏（S50経営）。議長に幹事の谷口義清氏（S40交短経、S43経営）、副議長に埼玉県支部長の石丸博史氏（S46経営）を選出。始めに池田会長の挨拶があり、議事に入りました。

平成9年度予算を承認

山本副会長から平成8年度の活動報告がありました。なかでも、12月1日に校友会第30番目の支部として誕生した兵庫県但馬支部について詳しく報告があり、支部長の岸本隆男氏（S43交機）が紹介され、全員拍手で祝意を表わしました。

大植副会長から平成9年度予算案について説明があり、一般会計6328万3000円と特別会計財政安定化基金から、学園創立70周年記念募金に3000万円を募金することが可決されました。（18ページ参照）

光岡副会長から会則改正案について説明があり、承認されました。（18ページ参照）

会則については実態との不整合性や不備な点の指摘もあり、執行部としても問題意識を持っているところで、引き続き改正委員会で鋭意検討していく旨表明されました。

最後に池田会長から、学園創立70周年募金に対する校友会の現状報告とお願いがありました。

要旨「学園最大の団体校友会としては低調である。"広く浅く卒業生に支えられる学園造り"という観点から、まず役員諸君には、率先して趣意書に基づいて早急に賛同をお願いしたい。また、幹事会、代議員会、総会の時には、その都度募金箱を設置するので協力をいただきたい。さらに、支部活動等を通じて全国の会員各位に賛同をお願いしていただきたい。」

母校　河井先生講演

代議員会終了後、母校教養部教授（哲学・倫理学）・綜合図書館長の河井徳治先生の講演が行なわれました。

河井 徳治先生

演題「いのちとは何か―今日の生命倫理の問題―」

ユーモアを交えてやさしくお話しをされ、試験がなく単位にも関係のない講義を、気楽に拝聴しました。

凡友る旅に出 [OSULA]

アメリカへテイクオフ！

Attention please! 凡友は関西国際空港国際線団体受付前に不安げに立つ。まもなく大学、短大生90名と引率者4名で英語研修に出発。目的地はロサンゼルスにある大阪産業大学海外研修センター（OSULAオスラ）である。8月29日15時35分、満席でNW26便はロスを目指してテイクオフ。12時間後刺すような日差しと乾いた空気、そして現地責任者の中島理宏氏（S51経営）が迎えてくれた。彼とは同期で、学生時代からの知り合い。久しぶりの再会である。

空港からは映画でよく見る10車線のフリーウェイをバスで45分、静かな住宅街にあるOSULAに到着、旅の3分の1が終わった気分だ。でもこれから3週間の研修が始まる。翌日は時差ボケ解消のため、全員でバスで15分のユニバーサルスタジオへ。8月最後の日曜とあってどのテーマ館も90分間待ち。しかし、待つ間も退屈させない工夫がされ、ショーのうまいアメリカを感じる。

研修は1クラス約10人。先生対生徒という堅苦しい授業風景ではなく、リラックスした雰囲気。午後は時々フリーになるので、学生は一斉にショッピングに出かける。日曜日にはサンタモニカ、ロングビーチへ。寒流のせいか泳いでいる人は少ない。

ロサンゼルス事情

車社会のアメリカ。タクシーは手を挙げても止まってくれない。へたに乗せると、撃たれることもあるからとか。だから店の人に呼んでもらうか、数少ない乗り場を探す。すべてが英語研修の場である。

皆がOSULAへ帰ってくるまで、やはり心配の毎日であった。でも交通マナーの良さには感心させられる。信号は無視せず、歩行者優先が守られ、車同士の譲り合いもスムーズだ。研修合間にはオプショナルツアーでロスを楽しむ。野茂の登板に合わせてスタジアムへ。なんと、観戦日に15勝目を挙げてくれた。OSULAの生活は、中島氏他数名の日本人スタッフが親切に対応してくれたので快適。最後に皆でミッキーマウスを表敬訪問し、またの再会を祈りつつNW25便に機乗した。（編集部　平佐多敬二）

英語研修のオールキャスト（OSULA正面玄関にて）

From Los Angeles

校友の皆さん、お久しぶりです。

51年度経営学部卒業の中島理宏です。卒業と同時に大阪産業大学に就職し、約11年の勤務後アメリカに海外駐在いたしました。そしてはや丸8年が経過。その間、ここロサンゼルスにも毎回「凡友」を届けていただきありがとうございます。おかげさまで浦島太郎状態になることもなく、皆様のご活躍や学校の発展ぶりを嬉しく拝読しております。さて、今回は私どもの紹介を兼ね、少々紙面を拝借することになりました。

What's OSULA?

凡友ご愛読の皆さんは「OSULA」という名をご存じですか。たぶん多くの方が「なんじゃそれ！モスラの子供か？」などと思われるのでは…と心配なのですが。実はここそ我が愛する職場で、日本名では「大阪産業大学海外研修センター」、英語名では「Osaka Sangyo University Los Angeles(OSULA)」と呼ばれています。

1989年に大阪産業大学の海外教育施設としてアメリカ、ロサンゼルスのスタディオシティーに設立されました。当センターでは大阪産業大学グループの短期研修、他大学の語学研修、一般企業の視察研修、長期の英語留学、地元対象の日本語クラス、コンピュータクラス、卒業旅行、個人旅行、家族旅行の受け入れを行っています。

ここは、太陽がサンサンときらめく緑豊かなアメリカ中流家庭の住宅街の中にあります。それでいて、すぐ隣には俳優達も訪れるというとてもお洒落な商店街もあり、安心して暮らせる素敵な所です。このセンターのスタッフは、私の他に6名の専任と、アメリカ人教員などのパートが約10名います。中でも紹介を忘れてはならないのは平成2年度経営学部卒業の青木勇策君。彼は卒業後、1年日本でサラリーマン生活を送った後、向学心に燃えアメリカの大学に留学しました。そして、この期間中に運悪く（？）抽選で永住権を得てしまい、ついでにOSULAに半ば強制的に就職させられたという本当～に運の悪い好青年です。

Welcome to OSULA

校友の皆様がロサンゼルスに到着されましたら、彼が満面に笑みを浮かべエアポートでお迎えいたします。どうぞいつでも、どなたとでも安心してお越しください。

我々スタッフ一同心よりお待ちいたしております。校友との再会を心待ちに、異国の地ロサンゼルスより（中島&青木）。

お問い合わせは大学の国際交流センターまで。

スタッフ（左2人目中島氏・右端青木氏）

支部レポート Report

兵庫県但馬支部
30番目の支部誕生

兵庫県但馬（たじま）支部の結成総会が平成8年12月1日（日）、兵庫県朝来郡和田山町「和田山ホテル」で開催されました。

学園から中山英明常務理事と藤野清久大学事務部長のご臨席をいただき、校友会本部からは中山・大植・高見の各副会長、支部推進部から福井幹事、宮井代議員にご出席いただきました。支部を代表して森本勉氏（神戸市支部長）、大久保司氏（兵庫県西支部長）氏が出席されました。

兵庫県但馬支部の地域は豊岡市と城崎・出石・美方・養父・朝来の1市と5郡からなり、会員数は215名。兵庫県では兵庫西、神戸市に次いで3番目の支部誕生です。結成総会は安井義文さん（S47土木）が議長を務め、原案通り支部会則が承認され、支部役員を次の通り選出しました。

支部長	岸本　隆男	（S43交機）
副支部長	徳網　登	（S46土木）
	安井　義文	（S47土木）
	水谷　繁博	（S47交機）
会計	大廣　勝美	（S53土木）
地域幹事	田中　紀男	（S53機械）
	古川　春馬	（S53土木）
	柴田　巧	（S54土木）
	舛田　昭	（S53経営）
	植村　匡継	（S54経営）
会計幹事	西村　明生	（S55交機）
	児林　忠雄	（S38交短）
事務局	炭屋　秀行	（S53機械）
	田村　静夫	（S54土木）

総会に引き続き、徳網登副支部長の司会で懇親会を開催。支部役員と会員の自己紹介を行い、親睦を深めました。

兵庫県但馬支部の連絡先
〒667兵庫県養父郡八鹿町伊佐17－2
事務局　田村静夫
電話0796(62)6855

（編集部　高見新一）

福井県支部
新支部長に早瀬俊雄氏を選出

9月29日（日）第10回福井県支部総会を、福井駅ビルで開催。当日は本部より大植副会長、今井常任幹事にご出席いただきました。

総会は佐々木副支部長の司会で始まり、小泉支部長、大植副会長の挨拶ののち経過報告と進み、議事に入りました。

そして会計担当の結城氏より会計報告がなされ、承認されました。また、役員改選も行われ、支部結成以来支部長でがんばられてきた小泉氏が勇退されて、新支部長に副支部長の早瀬俊雄氏が選出されました。

新支部長は「支部発展は大学の発展につながる。活発な支部活動を行っていこう」と挨拶。支部会員の協力と、議会への参加を呼びかけました。懇親会では全員学生時代にもどり、大学生活、恩師の事、クラブ活動などの話で親交を深め、新支部長の「たまには湯につかり裸同士の総会も良いのではないか」の言葉で無事終了いたしました。

（副支部長　貝谷信雄）

中部地区支部長懇談会
「中部・近畿地区支部長懇談会」開催

今年度第2回目の支部長懇談会が、平成8年10月13日(日)に名古屋の名鉄グランドホテルにて開催されました。北陸地区より福井県、近畿地区より神戸市、奈良県、三重県の各支部代表者。支部を結成していない地区からは、静岡県、長野県、滋賀県、京都府の有志の方に出席していただきました。

また、校友会本部からは、川本副会長と大植副会長をはじめ、支部推進部の福井、今井、峠、宮井、青木が出席して総勢19名となりました。

懇談会は、支部推進部・宮井代議員の司会により開会を宣され、川本副会長の挨拶に続き、出席者の自己紹介を兼ねた支部の近況や初参加の方の感想などについての報告をいただきました。その後、支部推進部・福井が議長となり、「支部の結成・運営について」、「組織における支部長会の位置づけ」というテーマで討議しました。今回は未結成地区からの出席者が多く、特に支部結成に関わる討議は、支部結成を目指している参加者にとって大変有意義なものとなりました。

（支部推進部　福井義員）

柏原支部
メインイベントはお楽しみ大抽選会

第5回柏原市支部総会は11月9日（日）柏原市のサンヒル柏原で開催。当日、本部からは副会長の川本氏をはじめ、多くの役員のご出席をいただきました。

事業報告、会計報告、会計監査報告に続き、役員の改選を行いました。校友会会長の池田氏が相談役に、代行を勤めておりました吉内支部長代行が新支部長に、副支部長には柴田氏、力石氏が選出されました。席を変えて、6時30分からは懇親会。自己紹介などの団欒の後、今回のメインイベントである大抽選会が行われ、1等2万円の商品券を筆頭に、末等の柏原名産のワインまでが賞品となりました。最後に池田会長をは

じめ多くの方々から、柏原市支部のさらなる発展は「現在の柏原市域にとらわれず、近隣諸市、八尾、藤井寺、羽曳野、東大阪、松原、堺等を含めた大きな支部に」とのご意見をいただき散会。近隣諸市の会員のみなさまに、ぜひご協力をいただきますようお願いいたします。

（支部長　吉内秀徳）

大阪北河内支部

家族参加ならではの楽しい支部総会

残暑もまだ厳しい中、平成8年度の大阪北河内支部総会を9月8日(日)に生駒市のくろんど池において開催。例年通り、家族を含め総勢約70名の参加となりました。

今回は、サントリービール本社より出席された2名の営業員による「ビールのうまい飲みかた講習」があり、今まで知らなかった生ビールの知識など、私たち男性にとっては楽しいひとときとなりました。そして支部長の挨拶に続き、会計報告及び監査報告、一部役員の改選も行い、例年通りのバーベキューによる食事会。かき氷、スイカ割り、金魚すくい、恒例の大福引大会と縁日を思わせるにぎわいで、家族参加ならではの楽しい支部総会となりました。

（顧問　山崎重章）

鹿児島県支部

故堀之内俊則殿のご冥福を祈る

11月23日（土）午後6時より、第9回支部総会を昼のゴルフに続き、西鹿児島駅近くのタイセイアネックスホテルにて開催いたしました。参加者は本部より光岡副会長、久保代議員（産大就職開拓課長）ご両名のご出席をいただき、支部会員12名。当日は幹事の有馬さんの司会で、10月27日にご逝去された故堀之内俊則殿（S44短自）のご冥福を祈り、全員で黙祷を捧げました。光岡副会長より、来賓祝辞として校友会本部の近況と今後の展望をお聞かせいただき、久保課長より、今年の就職状況についてご報告をいただきました。議事では前年度の運営報告、会計報告があり、それぞれ承認を得ました。役員改選には全員留任となり、来年度10周年の総会を盛大に開催できるよう皆で誓いあいました。

総会後は記念写真もそこそこに宴会に移りました。海の幸を味わいつつ語ったのは、大学時代での想い出話や仕事の事、家庭の事など。時の経つのも忘れ、藤井さん提供の貴重な焼酎も飲みほしてしまうほど話がはずみました。来年は節目の年、支部会員の皆様も次は気軽に参加してみませんか。きっと喜んでいただけるものと思います。

（支部長　赤崎一弘）

大学支部

大学支部総会を開催

平成8年度の大学支部総会を1月25日、京橋の「東天紅（大阪ツイン21店）」にて開催。校友会から池田会長、事務局の福田氏を迎え、峠副支部長の司会で進められました。木村支部長、池田会長挨拶の後、平成8年度の活動報告、平成7年度会計報告、監査報告が行われ、承認されました。

続いて次期役員選出が行われ、支部長：松田充生　副支部長：吉川浩美　同：松浦耕平　同：金岡正信　会計：引地紘満　同：皿屋匡宏　監事：高浪洋一の7名を選出。4月より新役員のもと、大学支部活動が行われることとなりました。

総会終了後、懇親会では昨年に藍綬褒章を受賞された古谷理事長よりご挨拶をいただき、大学支部よりお祝いの花束をお贈りしました。続いて大野学長よりご挨拶があり、中山常務理事の乾杯で宴が始まりました。中華料理や紹興酒を片手に、職場を越えて話もはずみ、特製のビンゴゲームで楽しいひとときを過ごしました。

（副支部長　三宅良司）

支部長会開催

記念募金、支部助成規定など議論

平成9年2月16日（日）、宝塚グランドホテルで第10回支部長会が開催されました。

出席は、支部長または支部長会代理と、会長以下本部役員の総勢42名。

司会・議長は、支部推進部（常任幹事）部長の福井義員氏（S52土木）。初めに池田会長の挨拶があり、次の事項について討議されました。

◆支部助成規定の改正について

福井部長から、提出資料に基づき説明がありました。

改正の理由は助成項目や事務処理の簡素化と参加者増員を計るため。

種々議論の結果、基本的に了解されました。

最終幹事会の承認を得て平成10年度から実施することになります。

◆学園創立70周年記念募金について

池田会長が「総金額もさることながら、いかにして一人でも多くの会員が関心をもち、賛同してくれるかが重要。そのためには、全国支部の協力がぜひとも必要である」と力説されました。

種々議論の結果、平成9年度は活発な支部総会の開催などを通して取り組むことで合意されました。

◆その他

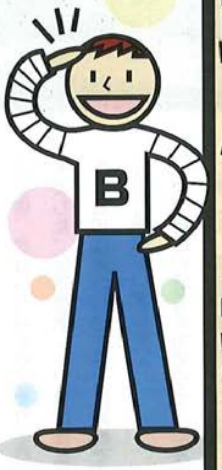
・平成9年度総会（10月26日）の福引景品に、各支部の名産品を用意することになりました。

・福井県支部の早瀬支部長から提言があり、日本海重油流出事故に対して、地元へ大阪産業大学校友会として見舞金（10万円）を送ることになりました。

2月20日福井新聞敦賀支社へ寄託し、21日の朝刊に掲載されました。

（支部推進部　今村彰隆）

校友の活躍ぶり拝見



積水ハウス

環境にやさしい新工法について講演

荒木弘之さん（S43 機械）

ジャッキアップ工法を開発

工学部交通機械工学科は毎年、交通機械工学実験の中で講演会を開催。今回初めて卒業生の荒木弘之氏を講師として迎えました。現在、積水ハウス（株）施工開発部機械化施工研究所部長として勤務されています。

今回は2年生を対象に「住宅産業の新しい機械化施工について」の演題で講演をしていただきました。主な内容は、同氏が開発した逆転の発想が生んだ環境にやさしい新工法、ジャッキアップ工法（基礎完了後、屋根工事を完了させジャッキアップし、そして2階外装完了後、2階をジャッキアップ。さらに1階外装を完了）。先輩から後輩へのメッセージは「賢者は愚者から学び愚者は賢者からも学ばず」。

同氏のますますのご活躍を期待します。

（編集部　馬込正勝）

川田工業

明石海峡大橋補鋼桁工事に参加

塩田恵市さん（H元 土木）

世界最長の吊り橋、明石海峡大橋

平成10年春の完成が予定されている明石海峡大橋は、本州四国連絡網の「神戸・鳴門ルート」に属しており、航行船舶数の極めて多い国際航路として名高い明石海峡を横断。兵庫県神戸市と淡路島を結びます。

この吊り橋は、中央支間長1990.8m、全長3911.9mの3径間2ヒンジ補強トラス吊り橋。現在世界一のハンバー橋（英国・中央支間長1410m）より581mも長く、世界最大の吊り橋となります。

塩田恵市さん（川田工業）は明石海峡大橋補鋼桁工事の共同企業体（川田・日立・瀧上・高田・片山）で働いています。補鋼桁工事は、吊り材を介してケーブルで支持された吊り構造部の工事を指し、車両の走行する床組（鋼床版）とこれを支持する桁（補鋼桁）工事で構成され、風速80m、マグニチュード8.5クラスの地震に耐えられるように設計されています。

平成8年9月18日に補鋼桁の最終ボルトが締結され、明石海峡大橋は初めて一体の吊り橋となりました。「卒業してすぐに、世界最高水準の技術を結集したビッグプロジェクトに参加でき、土木技術者として光栄です。これからも社会に役立つ仕事を行いたい」と塩田さんは抱負を話されました。

（明石海峡大橋・補鋼桁工事パンフレットより一部転載）

（編集部　高見新一）

緊急車両の責任者として現場で災害活動

豊中市北消防署

井ノ本学さん（S55 経営）

緊急出動指令で現場に急行！！

「火災指令！」、「事故指令！」豊中市消防本部からの緊急指令。現場へ急行する消防車、救急車。井ノ本学さん（消防士長）＝写真＝が勤務する「豊中市北消防署桜井谷出張所」は、1日に平均5回の緊急出動があります。北消防署の分隊長を務める井ノ本さんは緊急車両の責任者として、現場での災害活動にあたります。「私の仕事はやり直しがききません。失敗したからもう一度、というような事ができないのです。24時間の勤務体制。緊張の連続。人の命と財産を守るたいへんな仕事です」責任感に満ちた表情が素敵です。

大阪府立消防学校へ出向

消防士になると、消防学校に入学して専門的な知識と実技を習得しなくてはなりません。井ノ本さんも大学を卒業するとすぐに大阪府立消防学校へ入学しました。その大阪府立消防学校（大東市平野屋）は大学中央キャンパスの西隣にあります。皆さんも一度は見たことがあるでしょう。井ノ本さんは平成8年4月から9月まで、大阪府立消防学校の教官として学生（初任教育生）の指導を行いました。その学生の中に校友会員の方が3名いました＝写真。右から、小西範将さん（H5経営）、井ノ本さん、北田明弘さん（H7交機）、岡野広幸さん（H6交機）。

その中の北田さん（枚方寝屋川消防組合消防本部）は消防学校在学中、学生の仲間らと昭和初期に造られた消防用の「手引き動力ポンプ」の復元に取り組みました。（平成8年9月6日、読売新聞掲載）

現在、きれいに復元、整備されて消防学校の史料として校内に展示されています。

（編集部　高見新一）

高校教師として母校との関わりも頻繁に

京都府立商業

橋本幸代さん（S56 経営）

京都府立商業高校の教師として、情報処理教育に熱心に取り組まれている橋本さんを紹介します。京都府立商業高校は、毎年経営・経済学部に優秀な生徒を送っていただいている大阪産業大学の推薦指定校です。橋本さんは、両校を結ぶパイプ役としても、長年にわたって活躍されています。

教師になられたきっかけ

橋本さんはもともとは教師志望ではなく、税理士志望だったとか。教師になられたのは偶然友達から講師の話があり、教えているうちに、教えることの楽しさや生徒とのふれあいの素晴らしさを知ったからだそうです。

情報処理技術者の育成に奮闘中

橋本さんが担当する教科は情報処理やプログラミングなど。コンピュータ社会に対応できる有能な人材の育成を目指して奮闘しています。特に第2種情報処理技術者などの資格取得は、授業や補習授業などで力を入れられており、毎年資格取得でがんばった生徒に贈られる「京都府教育長表彰」の受賞者も年々増加しているとの明るいご報告も聞かせていただきました。

母校との関わり

現在の高校に勤めたときに進路指導部へ配属され、以来母校訪問や入試説明会への出席など母校と関わる機会が増えたという橋本さん。今は違う部署にいるにもかかわらず、母校の説明会には大学関係者に名前が知れているからということで毎回声がかかり欠かさず出席されているとのことです。

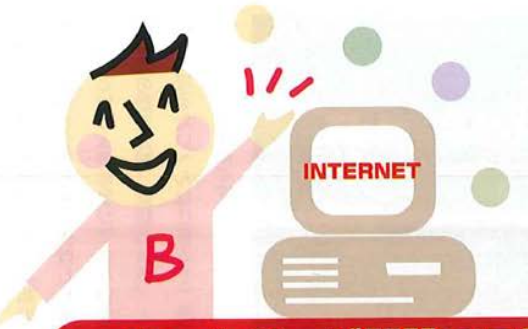
校友の皆さんへ

橋本さんは去年の夏と冬に、飛騨に住む学生時代の友達と会った時のことを「久しぶりに学生時代に戻った気分で懐かしく話合えました。これからも学生時代の友達を大事にしていきたいです」とにこやかに話されました。橋本さんに質問やメッセージがあれば、どしどし次のアドレスまでメールで連絡してくださいとのことです。

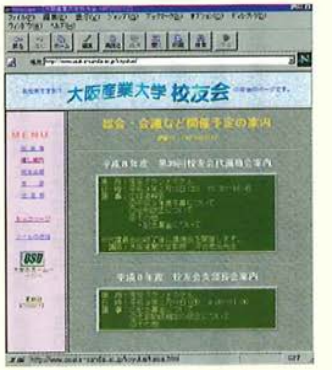
hasimoto@kyoto-chs.fushimi.kyoto.jp

（編集部　皿屋　匡宏）

校友のひろば



ホームページ開設のご案内！



あっという間に広まったインターネット、あなたはもう利用していますか？ 校友会では、OB諸氏からのホームページ開設の要望に応え、大学及び学内役員の協力を得てホームページを開設しましたので、その利用方法について簡単に説明します。

その前に、インターネット＝ホームページと思っている方はいませんか？ インターネットは、①電子メール、②WWW、③NetNews、④リモートアクセス、⑤ファイル転送、などのサービスがあり、ホームページと言っているものは、実は②のWWW（World Wide Web）サーバが提供している情報のことなのです。パソコン通信のように、共通のコンピュータを多くの人々で利用する形態ではなく、インターネットに接続されている世界中のコンピュータを利用することができるようになっています。

一般の方が自宅から利用する場合、プロバイダー（インターネットへの接続仲介業者）との契約が必要となります。もちろん、パソコン等の機器も必要です。次にやっかいな接続手続きがあり、ここで挫折される方が多いのではないでしょうか？

さて、校友会のホームページに接続するためには、「ホームページのある場所」を指定しなければなりません。これは、住所のようなもので、URL（Uniform Resource Locator）と呼んでいます。校友会のURLは、http://www.osaka-sandai.ac.jp/koyukai/となっています。

それでは、校友会が開設したホームページの説明をしましょう。この画面は、まだまだ暫定的ですので今後も変わるものだと思って下さい。この中で情報提供している内容は、画面左のMENUの中にあります。ここでアンダーラインのある文字列のところをクリック（マウスの左ボタンを押す操作）すれば見たいものが右画面に現れます。この画面例は、「催し案内」を選んで、その内容が表示された例です。「出来事」は、校友会に関わる出来事を掲載するつもりです。「校友会報」は、「凡友」の記事を掲載します。「支部」は、各支部に関する情報を掲載します。「伝言板」は、会員相互の連絡に利用したいと考えています（未完成）。「メールの送信」は、校友会に電子メールを送信するときに利用して下さい。「OSU」は、大阪産業大学のホームページにジャンプするようになっています。以上の説明だけではとてもご理解いただけないと思いますので、興味のある方は、書店で参考書を購入して下さい。インターネットは、文字や画像の他に音声や映像も送れますので、これからの情報伝達手段として大いに期待できるものです。皆さんもぜひはじめてみてください！

（常任幹事　福井義晃）

チャイム［Chime］

意外に簡単！手造りビール ぜひ一度挑戦してみませんか！

仲間が集まれば「まずビールで乾杯」することが多いですね。近頃では各地の地ビールなるものもよく耳にします。また手造りビールも流行しています。そこでA&Aでも手造りビールに挑戦してみました。最近は材料や一連の道具がセットで販売されていますから、これを使えば簡単。ビール製法マニュアルによると「そんなに難しくなく2カ月で飲める」とあります。ただ、少し長く熟成したほうがおいしいビールになりますが・・・・。

そして、少し経験を重ねれば味も良くなります。それでは皆さんに製法の流れをご紹介しましょう。

ビールの造り方

1 缶のビールエキスを鍋に入れ、お湯で薄めて（アルコール濃度は1%以下にする）じっくり煮つめる。

2 イースト菌を入れてよくかき混ぜる（イースト菌が糖分をアルコールに分解する）。

3 2を殺菌した容器に入れてイースト菌が最も活動しやすい温度（20℃）で1次発酵を行う。

4 1次発酵が終わったらビンに詰める（この時ビール独特の泡を出すために砂糖を少量入れる）。

5 4の状態で約2カ月直射日光を避けて2次発酵させる。

作業は以上で終わりです。ただ5の2カ月が最も大事な時期。ビールはこの間にゆっくりとまろやかになります。待っている間は、頭の中で想像以上に期待が膨らみ、その待ちこがれる気持ちが、ビールの味を、それ以上にうまく感じさせてくれるのかもしれません。「意外と簡単に造れるんだな」と思われたでしょうか？ 一度試してみてください。

詳細は校友会事務室（A&A）まで。

投稿を募集しています

編集部では、皆さまからの投稿を募集しています。友人や家族のこと、近所や職場での出来事、可愛いペットにまつわるお話、旅先でのエピソード、自慢のスナップ写真などなど…。身近な話題で結構ですので、編集部までどんどんお寄せください。

採用させていただいた方には、「特製テレホンカード」をお送りいたします。

楽しいお便りを、数多くお待ちしております。

先生お元気ですか？

偉大なる平凡人たれ！

堀川 健六先生 75歳

昭和45年4月～平成4年3月まで在職し、工学部土木工学科で、測量学・測量学実習・土木製図法・卒業研究（交通工学）担当。

学生諸氏の姿を、今でも懐かしく思い出します

産大にご縁をいただいたのは、土木工学科が開設されて間もない昭和45年。それは実社会から転じた私にとって、何もかも新鮮な出発でした。基本から学べたこと、国内留学の機会に関係の先生方から厚いご指導をいただいたこと、私の研究室でディスカッションした学生、教壇から見た学生諸氏の姿を、今でも懐かしく思い出しています。

ボランティアで海外渡航！現在も活動は続けています

昭和60年夏、初めて渡航の機会を得ました。それは土木工学科の平塚先生がケニアのジョモ・ケニヤッタ農工大学から帰国された翌年でした。平塚先生を通じて、同校の先生に、ワールド・ピース・ブレーヤソサエティという世界平和を祈る運動の一環で、ピースポールの建立をお願いしたのです。幸いにもその希望が叶い、ナイロビ大学に2本立てさせていただき、これが諸となって、その後もボランティア活動を続けています。

昨年11月、私はネパールを訪れました。今まで本当にたくさんの国を訪問させていただきました。

教え子へ偉大なる平凡人たれ！

学園創設の瀬島瀧三郎先生の建学の精神「偉大なる平凡人たれ」は、今もなお考えさせられます。この世の中でいくら肩書きが立派でも、その本質を問われては失格。私は、驕ることなく、自分自身を磨き上げることが大切だと思っています。マイナス思考は捨てて、常にプラス思考のみを持ち続けてください。1年ほど前に、土木工学科2期の斉藤雅文氏、大前延夫氏ら数名の卒業生にお会いしました。卒業後のみなさんが社会でまじめに努力されている様子で、私は、その真剣な眼差しや、ご活躍の様子に胸を打たれました。

（編集部　大前達彦）

卒業生とは連絡を取りあい長いつきあいをしています！

林 大行 先生 68歳

昭和28年より大阪交通学園の事務員として勤務。初期の数年は、大阪鉄道高等学校の非常勤講師を兼任。平成8年3月末、大阪産業大学顧問を最後に退職。吉野郡黒滝村鳥住の鳳鳴山西光寺の住職を勤める。

短期大学開校では文部省との交渉役を！

「当初は寄宿舎の舎監も兼任していました。寄宿舎にはむこう意気の強いやんちゃな生徒も多く、中には、何時間も向かいあって、正座して言い聞かせたこともありました。でもそんな卒業生こそ、今でも連絡を取りあっていて、長いつきあいをしていますねえ」と先生は懐かしそう。林先生を語る上で忘れてはならないのが、昭和37年の大阪交通短期大学自動車工業科開校のことです。直接文部省と交渉する大役を果たされました。当時は新幹線もありません。先生は申請書類を整えるために、夜行列車で東京・大阪間を何度となく行き来しなければならなかったといいます。また他にもさまざまな問題があり、それを処理しながらの任務でした。昭和37年、短期大学は開校しました。これは先生にとって楽しい苦労話であり「とても印象深い思い出の一つ」になっているそうです。

地域を愛し、自然を愛してあるがままの人生を謳歌！

先生は現在、浄土真宗の住職に専念。そして黒滝村の地域産業に尽力を注ぎ、当寺にお参りに来られる方々に楽しんでいただけるよう、菊の花造りにも情熱を注いでおられます。また健康についても「あるがまま、ビールも飲み、お酒も飲み、生きるもよし、死ぬもよし」と、独自のスタイルを貫いて、すがすがしい生活を送っていらっしゃいます。

今回は、先生からぜひ皆さんに読んでほしい本として「歎異抄に聞く」（藤原凌雪著）をご紹介いただきました。皆さんもこれを読んで悟りの心に近づいてください。先生いつまでもお元気で・・・。

（編集部　才原 篤）

学園便り！ GAKUEN DAYORI.

古谷理事長 栄えの藍綬褒章受章 教育振興の功績称えられる

古谷七五三次理事長は秋の褒章（11月3日付）で、長年にわたる私立学校教育振興の功績が認められ、藍綬褒章を受章されました。

伝達式は11月13日（水）午前、東京・如水会館で開かれました。また、午後からは皇居で拝謁が行われました。

藍綬褒章は、教育・福祉や産業振興などの功績者に贈られるもので、毎年春と秋に政府から発表されます。

祝賀会　盛大に開催される。

古谷理事長の藍綬褒章受章祝賀会が、12月9日（月）ホテルニューオータニ大阪で、政財界をはじめ教育・学園関係者ら800人が出席して盛大に開催。校友会からも、池田会長、村田相談役をはじめ多数の会員が出席しお祝いしました。

工学部環境デザイン学科大東市のウォール・ペインティングに協力

工学部環境デザイン学科の山村悟教授らのグループは、9月9日（月）から11日、大東市が市政40周年記念事業の一環として企画した「寝屋川護岸壁のウォール・ペインティング」のトータルデザインとペインティング作業を市役所北側の護岸壁で行ないました。

これは、市役所北側の寝屋川沿いのコンクリート護岸壁約300mに、市民から募集した絵約100点を応募者に描いてもらい、美しく変身させようというものです。

作業に協力したのは、山村教授、奥哲治講師、吉田淳一講師と同研究室の学生ら計53人のボランティアです。

応募作品の選考は先の3教員が務め、山村教授は全体デザインを担当。市内の護岸壁の総延長は約20kmあり、市は将来この巨大キャンバスを絵で埋め尽くしたいとのこと。また、この作業の模様や完成の様子は新聞などで紹介されています。

大学・短期大学部

平成9年度入試

一般（前期）入試に13,217人志願（前年度比6.8%減）

平成9年度大学・短期大学部の一般（前期）入試が、2月1日（土）から6日にかけて本学ほか全国計11カ所で行われました。

大学・短大をあわせた一般（前期）入試の志願者総数は、前年度比6.8%（958人）減の13,217人。

志願者数の内訳は、経営学科（F日程、S日程含む）が15人増の2,857人、流通学科（F日程、S日程含む）は361人減の1,516人、経済学科は322人減の2,444人、I部機械工学科は60人増の772人、交通機械工学科は47人減95人、土木工学科は59人増の880人、電気電子工学科は180人増の928人、情報システム工学科は288人減の1,071人、環境デザイン学科（A入試・B入試含む）は88人減の1,077人、II部機械工学科は9人増の181人、交通機械工学科は81人減の250人、短期大学部は94人減の288人（別表）。

また、今年度から始まった大学センター試験利用入試は、98人の募集人員に計3,482人が志願。この後、3月1日（土）から3日（月）まで一般（後期）入試が実施された。

（資料：入試センター、平成9年2月14日付）

学部・学科	項目	一般（前期）入試 募集人員	志願者数	合格者数	倍率	大学センター試験利用入試 募集人員	志願者数	合格者数	倍率
経営学部	経営学科	190	2,857	481	5.80	20	644	103	6.25
	流通学科	190	1,516	543	2.73	20	983	216	4.55
	計	380	4,373	1,024	4.17	40	1,627	319	5.10
経済学部	経済学科	162	2,444	554	4.31	20	378	102	3.71
工学部I部	機械工学科	36	772	210	3.62	6	200	40	5.00
	交通機械工学科	56	953	261	3.60	8	234	56	4.18
	土木工学科	61	880	228	3.80	6	243	30	8.10
	電気電子工学科	54	928	233	3.91	6	219	31	7.06
	情報システム工学科	58	1,071	267	3.92	6	302	30	10.07
	環境デザイン学科	49	1,077	189	5.70	6	279	24	11.63
	計	314	5,681	1,388	4.02	38	1,477	211	7.00
工学部II部	機械工学科	35	181	122	1.46	—	—	—	—
	交通機械工学科	71	250	186	1.32	—	—	—	—
	計	106	431	308	1.38	—	—	—	—
短大	自動車工業科	160	288	234	1.20	—	—	—	—
合計		1,122	13,217	3,508	3.69	98	3,482	632	5.51

平成8年度 就職状況

●多様化する就職戦線

平成8年度大学・短期大学部の就職状況は、前年度に比べ、求人数が（10月31日現在）文系102%増、理系62.1%増、求人会社は全体で27.9%増とやや広き門となりました。しかし、内定率（11月30日現在）は、78.5%と前年比（12月1日現在）5.4%減となっています。

文部省発表の全国平均内定率（10月1日現在）は69.9%を上回っていますが、本学の内定率の減少は、将来何をやりたいか等の自己分析不足による未内定者と、すでに内定を得ていながら決定報告書を提出していない学生が多いためと思われます。

（資料：就職センター、平成8年11月30日付）

学部	学科	卒業予定者	就職希望者	内定	内定率	進学希望者
経営学部	経営専攻	451	340	254	74.7%	11
	交通経営専攻	449	377	269	71.4%	15
経済学部	経済学科	453	381	346	90.8%	6
工学部I部	機械工学科	136	118	107	90.7%	9
	交通機械工学科	194	179	169	94.4%	10
	土木工学科	132	116	100	86.2%	13
	電気電子工学科	132	113	104	92.0%	9
	情報システム工学科	156	131	104	79.4%	10
	環境デザイン学科	166	151	111	73.5%	14
工学部II部	機械工学科	64	48	23	47.9%	0
	交通機械工学科	132	95	55	57.9%	3
短大	自動車工業科	409	304	206	67.8%	83
合計		2,874	2,353	1,848	78.5%	171

訃報

代議員　浅田　弘太郎氏（S35交短運）
平成8年10月15日逝去、享年55歳

昭和40年大阪交通短期大学事務員として入職。昭和52年職員課長補佐、昭和54年職員課長、昭和57年総務課長、平成5年総務部次長（秘書・総務担当）、平成7年財務部長就任と同時に学園の評議員も務められました。1年ほど前から体調を崩されて療養中でしたが、突然の訃報でした。

創立者夫人　瀬島　さをさん
平成8年11月2日逝去、享年100歳

昭和3年の大阪鉄道学校創設以来、瀬島源三郎先生とともに学園の発展にご尽力され、今日の総合学園の礎を築かれた方です。この間、昭和38年から43年にかけては学園の評議員を務められ、大阪産業大学の設立に情熱を注がれました。

大学紹介

■シリーズその1

最近本大学を卒業された方々は大学の現状をほぼ認識しておられることでしょう。しかし、卒業後かなりの年月が経過している諸先輩方にとっては、大学の現状を知りたいという希望も少なくないと思います。

そこで今回から、大学紹介シリーズとして各学部の現状を順次紹介させていただくことになりました。

短期大学部

大阪産業大学の礎をここ大東市に築いたのは、当短期大学部（当初大阪交通短期大学運輸科、現在は大阪産業大学短期大学部自動車工業科）です。

昭和25年の開学以来、多くの人材を輩出した当短期大学部は、もうすぐ創立50周年を迎えようとしています。しかし、18歳人口の減少などにより転換期にさしかかりました。そこで現在の定員400名を削減することにより内容を充実しようという計画が進行しています。受験生の4年生大学指向が強まる中、本学のみならず全国の短期大学では存亡をかけた改善努力が払われています。いわゆる自動車短大は全国で8校（北海道、新潟、高山、中日本、愛知技術、徳島、広島および本学）あります。そのうち本学は地理的条件の有利性を持つことから、定員を削減することにより、先輩に劣らぬ卒業生を送り出すことができ、十分存続できるものと期待されています。

大学の評価はそこの卒業生と教員の質によってなされます。教員の質が高く教育熱心であるならば、優秀な卒業生を世に送り出すことができるのです。短大教職員の構成は教授8名（すべて工学博士）、助教授3名、講師5名、助手15名、事務職員4名およびパートの事務職員2名の合計37名。全員でより良い教育、より良い教育環境作りを目指して努力しております。

ここで、短大教員の研究テーマ（教授のみ）やその成果の一部をご紹介いたします。

酒井秀男教授 短期大学部長

◆酒井秀男教授研究室

自動車の運動特性に関する研究、タイヤの摩擦・摩耗・力学的特性・振動特性・騒音特性などに関する研究

◆岩橋善久教授研究室

位相シフトスペックルシアリング干渉法による歪分布の測定、基準を必要としない形状測定法の研究

◆川島成平教授研究室

機械工学における接触問題解析用手法の開発と、それら手法のCAEへの応用

◆辻野啓一教授研究室

固体電解質薄膜を使用した燃料電池の開発に関する研究

◆村上一實教授研究室

モアレ法に関する研究、画像処理援用によるモアレデータの解析法の開発

◆森軍平教授研究室

ランダム系の分子運動に対するコンピュータ・シミュレーション、モンテカルロ法による光子の追跡

◆山本正樹教授研究室

超並列コンピュータのアーキテクチュアとプログラミングに関する研究、マルチメディアの遠隔教育利用とシステムに関する研究

◆横井雅之教授研究室

摩擦音の発生メカニズムに関する研究、機械の故障・診断に関する研究

なお、酒井秀男教授は短大部長であり、自動車用タイヤの研究に関しては我が国屈指の高名な学者であります。

また、校友会員でもある、藤田久和助手（S53年交機）のソーラーカーの研究についてはマスコミも大きく取り上げるなどその成果を上げております。写真は昨年の豪州縦断ソーラーカーレースにおいて、出場49チーム中堂々8位の成績を収めた時に撮影されたものです。3年に1度行われ、動力は太陽エネルギーのみと制約するこの大会は、世界の強豪チーム（研究組織、大学、ホンダ等の一流企業など）が参加する非常にレベルの高い、それこそ世界一を争うレースであります。

（編集部　大平和昭）

豪州横断ソーラーカーレース （藤田久和助手、左から5人目）

スイート・カップル

Sweet Couple

●川口　真男さん（S60経営）
【結婚式】平成8年11月2日
【住　所】寝屋川市寿町50の33

●華岡　英さん（S61経営）
【結婚式】平成8年12月8日
【住　所】茨木市西駅前町8の7の202

●近藤　雅之さん（H5経済）
【結婚式】平成9年1月26日
【住　所】東大阪市若江西新町4の5の5
カトレアハイツ101

●坂　光博さん（H元経営）
【結婚式】平成8年11月3日
【住　所】尼崎市水堂町3の6の20
ヘリテージ武庫之荘611

●中川　大裕さん（S58交機Ⅱ）
【結婚式】平成8年8月11日
【住　所】京都市山科区勧修寺瀬戸河原133

●杉下　朋年さん（H3経営）
【結婚式】平成8年10月6日
【住　所】福井県門前町3の20
フラワーコーポⅡ201

●奥野　成人さん（H5経済）
裕子さん（旧姓　溝口　H5経済）
【結婚式】平成8年11月9日
【住　所】堺市三原台3の13の53

●中村　一雄さん（H元電電）
【結婚式】平成8年11月24日
【住　所】川崎市中原区下小田中
3の33の5藤ハイム406

●池田　昌弘さん（S58土木）
【結婚式】平成8年11月4日
【住　所】香川県坂出市川津町
2431の6

●杉本　真規さん（S60短自）
【結婚式】平成8年9月16日
【住　所】八尾市中田1の71の3

●久保田　博和さん（H3機械Ⅱ）
【結婚式】平成8年10月13日
【住　所】京都市西京区桂上野東町94の7

●畑　弘文さん（S63経営）
【結婚式】平成8年10月12日
【住　所】岡山県津山市平福439

●西川　修一さん（S62経営）
【結婚式】平成8年8月25日
【住　所】大阪市城東区今福南2の3の22

●田中　敬二さん（S63交機Ⅱ）
【結婚式】平成8年10月20日
【住　所】東大阪市荒本北52
春宮住宅6の106

●橋本　有吾さん（H6交機Ⅱ）
【結婚式】平成8年11月4日
【住　所】奈良県山辺郡都祁村馬場
407の2

●三宅　隆さん（H元電電）
【結婚式】平成8年12月7日
【住　所】京都市伏見区深草西川原町
36の1コートハイツ伏見稲荷
Aの521

私たち、がんばりました

ラクロス部

初の1部リーグで、堂々の4位

平成7年関西学生ラクロスリーグ1部に昇格した本学ラクロス部男子チームは、'96リーグ戦を於て大健闘。4勝3敗で堂々の4位となりました

また、本学の安里隆裕選手（経営4年）が最優秀選手に選ばれ表彰されました。

戦績は次の通りです

8月26日	本学	6−9神戸大
9月 8日	本学	5−13関学大
9月15日	本学	10−2立命大
9月29日	本学	4−6同志社大
10月13日	本学	10−3国際大
10月27日	本学	12−2甲南大
11月 7日	本学	9−7関西大

陸上競技部 駅伝チーム

関西大会本選に初出場 中山コーチの就任で予選会3位

9月20日（金）、大阪長居公園周回コースで開かれた第58回関西学生対抗予選会で3位に入賞。そして念願の本大会出場を決めました。

予選は8区間、63.3kmで行われ、近畿圏の12大学が出場。本学は3時間35分43秒の3位でゴールしました。

本選は11月17日（日）、京都府久美浜町浜公園をスタートし、宮津市大天満をゴールとする8区間、78.2kmの丹後半島コースで行われました。本学は奮戦及ばず、4時間21分43秒の19位に終わりました。しかし念願の本選出場ができたのも、昨年7月から就任された中山竹通コーチ（凡友51号で紹介）の指導の賜物でしょう。

アメリカンフットボール部

関西学生1部リーグ 5位で残留

昨年1部リーグ入りを果たした本学アメフト部は、平成8年9月から始まった'96リーグ戦（日本一になった京都大他7校）で新鋭らしく大健闘。2勝5敗で甲南大、同志社大と同率5位となり、大会規定により1部リーグに残留しました。

特に、本学の最終戦は残留をかけた大一番となり、1部常連校の甲南大を相手に53点を取り快勝したことが光りました。

戦績は次の通りです

9月 8日	本学	9−42京都大
9月16日	本学	0−41立命大
9月28日	本学	38−17同志社大
10月10日	本学	7−51関学大
10月25日	本学	10−19関西大
11月10日	本学	20−35近畿大
11月23日	本学	53−34甲南大

準硬式野球部

6人が西都代表でグァム遠征

11月27日〜12月2日、グァムのパヤオ、チャランバコの両スタジアムで第2回フレンドシップ大会が開催されました。本学準硬式野球部からも西都6大学選抜として6人が出場しました。

久慈俊弘選手（経営4年）、新司一成選手（同3年）、堀内靖之選手（同3年）、西海正人選手（機械3年）、清水智也選手（交機3年）、久保田哲司選手（流通2年）。

バスケットボール部

土壇場で本領発揮 1部残留 女子も2部へ昇格

関西学生1部リーグ戦、本学男子チームは一巡目で1勝10敗と苦戦でしたが、順位決定リーグで3勝0敗と盛り返し、12校中9位で1部リーグ残留を決めました。女子チームも関西女子学生3部リーグで健闘の結果、見事2リーグへ昇進しました。

戦績は次の通りです

9月 7日	本学	52−73近畿大
9月 8日	本学	64−75同志社大
9月14日	本学	68−82大阪体大
9月15日	本学	63−76流通科学大
9月16日	本学	63−84立命大
9月22日	本学	51−99京都産大
9月23日	本学	55−67関学大
9月28日	本学	66−70大阪商大
9月29日	本学	77−81大阪経大
10月 5日	本学	57−73天理大
10月 6日	本学	81−61関西大
順位決定リーグ		
10月10日	本学	75−70関学大
10月19日	本学	73−60大阪体大
10月20日	本学	72−71関西大

弓道部

辻本選手 全日本学生で優勝

本学弓道部の辻本元成選手（電気電子1年）は、平成8年8月5日〜8日愛知県体育館で行われた、第44回全日本学生弓道選手権大会男子個人の部に於て、見事優勝しました。

バトミントン部

男子2部、女子3部へ アベック昇格

関西学生秋季リーグ戦を共に5戦全勝で優勝し、入替え戦に出場した本学バトミントン部は接戦を制し、男子は2部、女子は3部へとアベック昇格を果たしました。

戦績は次の通りです

男子3部リーグ		
9月29日	本学	4−3大阪教育大
10月 6日	本学	5−2神戸学院大
10月12日	本学	4−3阪南大
10月13日	本学	5−2大阪大
10月27日	本学	4−3摂南大
入替え戦		
10月30日	本学	4−3神戸大
女子4部リーグ		
10月 6日	本学	4−1甲南大
10月13日	本学	5−0姫路獨協大
10月19日	本学	5−0親和女大
10月26日	本学	5−0同志社女大
10月27日	本学	4−1大谷大
入替え戦		
11月 1日	本学	3−2京都女大

柔道部

世界柔道選手権大会の選考会に出場

柔道部の佐藤栄一郎選手（交機1年宮崎日大校）は、昨年12月21、22日に警視庁武道館で開催された、平成8年度講道館杯日本柔道体重別選手権大会（60kg級）に出場し、健闘しました。この大会は、'97世界柔道選手権大会の第一次選考会及び、国際試合柔道強化選手・指定選手の選考を目的として開催されたものです。日本柔道界を代表する強化選手など230名が7階級に分かれて出場しました。本学からは監督の佐藤博信先生（教養部講師）以来、2人目の出場になります。なお3月13日から24日まで、関西学生代表男子14名の1人として、スペイン遠征をします。本学としては、今後を大いに期待しています。

硬式野球部

連続試合安打の記録を前田選手が更新中

本学硬式野球部の前田敦選手（経営3年）は、'96阪神大学野球1部秋季リーグ戦の最終戦、大阪体育大戦でもヒットを放ち、これで18試合連続安打のリーグ新記録を更新中です。どこまで記録を更新するか'97春季リーグが楽しみです。チームの戦績は6勝8敗で勝ち点2となり2位。なお、ベストナインに本学から4名が選ばれました。

二塁手　浜口猛選手（経済4年）

遊撃手　久岡裕選手（経済2年）
外野手　前田淳選手（経営3年）
外野手　勝部裕司選手（経営2年）

内燃機関研究部

省エネカーレースで大健闘

平成8年12月8日（日）に京都府乙訓郡大山崎町の日立ドライバーズスクールで、学生自動車研究会の省エネカーレースが開催されました。本学の内燃機関研究部、国士館大、龍谷大など7団体から2チームずつエントリーしました。今回の燃費レースはコースをあらかじめ決められた数だけ周回し、消費したガソリンの量を測定して、1リットルあたりの走行距離を算出。その値とタイムを競うものです。参加チームのうち、半数がリタイアするという難しさの中、本学のマシンは終始安定した走りを見せて見事完走。

経営学部の朱海（シュカイ）君

留学生日本語スピーチコンテストで神戸市長賞受賞

本学の外国人（中国）留学生で経営学部経営学科4回生、朱海君は平成8年9月15日（日）、国際ゾンタ神戸ゾンタクラブの主催により、（財）兵庫県国際交流協会助成事業「神戸ゾンタクラブ第6回留学生による日本語スピーチコンテスト」で神戸市長賞を受賞。テーマは「強く生きよう」。子供のいじめ問題についてスピーチしました。

経営学部の張文青（チョウブンセイ）さん

立命館大学院に合格

本学の外国人（中国）留学生で経営学部経営学科4回生、張文青さんは卒業後の進路として、国際関係の研究をするために立命館大学の大学院を受験。見事に難関を突破しました。張さんは中国青島出身で6年前日本に留学。主に貿易や国際金融を勉強されました。大学院卒業後は、日本で培った知識を思う存分に発揮し、母国中国との交流の橋となりたいとのことです。

軽音楽部

第28回定期コンサートを開催

大阪産業大学軽音楽部の恒例行事となっている「定期コンサート」を、平成8年12月14日（土）大阪市江坂のブーミンホールで行いました。

コンサートのテーマは「坊主の集いLIVE」。日頃の頭（茶髪、モヒカンetc）に飽きてしまい、究極の丸坊主で演奏をすることが、最先端のファッションであるという趣旨で行われたものです。現在の部員は44名。狭い部室で押し合いへしあい、バンドの練習をしています。軽音楽部OBの方、一度おたずねください。

チュッチュ両手に歓迎いたします。

エンジョイ・キャンパス！

学生課の後援でキャンパス内に映画館とライブハウスが突如出現しました。

●OSU映画館

池田亮君（経済学部2回生）と映画サークルのスタッフを中心に、OSU映画館運営委員会が結成され、多目的ホールで「子供たちの王様」が上映されました。上映当日の11月14日、場内は看板によるPRと昼休みにビラ配りをした効果があったのか、観客はそこそこの入り。もちろん好評で、今後定期的に上映を行うことになりました。

●OSUライブハウス

「産大Band Battle'96」が平成8年12月12日（木）午後5時から多目的ホールを舞台に開催されました。出場したのは産大生のアマチュアバンド。14バンドが自慢のオリジナル曲を演奏し、会場は、さながらライブハウスのにぎやかさ。

見事グランプリを受賞したのは「寒川バンド」で、賞品として10万円、準グランプリ（2バンド）には5万円の音楽ギフト券が贈られました。

校友会活動報告

平成8年

9月10日（火）編集部会（校友会事務室）
会報（51号）の初校について

9月24日（火）支部推進部会（校友会事務室）
中部地区支部町懇談会について

9月25日（水）編集部会（校友会事務室）会報（51号）の色校正について

9月26日（木）運営部会（校友会事務室）
平成8年度総会について

9月27日（金）大阪産業大学付属高校同窓会幹部との懇談会（やぐら亭）

9月29日（日）会長・副会長出席
福井県支部総会（福井駅ビル）
早瀬俊雄氏（S44経営）支部長に選出

10月5日（土）記念募金常任委員会、会則規程改正小委員会 幹事会（三井アーバンホテル大阪ベイタワー）
第38回代議員会・平成8年度総会について

10月13日（日）中部地区支部長懇談会（名鉄グランドホテル）

10月15日（火）会報（51号）発行・3万8000部を会員・教職員に送付

10月27日（日）第38回代議員会（三井アーバンホテル大阪ベイタワー）経過・平成7年度会計・同会計監査の各報告があり、会議案承認された
平成8年度総会（三井アーバンホテル大阪ベイタワー）ご来賓・会員300名が出席、盛会裡に終わる

11月7日（木）編集部会（校友会事務室）会報（51号）の反省と（52号）の誌面について
柏原市支部総会（サンヒル柏原）支部長に選出

11月9日（土）吉内秀徳氏（S43経営）支部長に選出

11月13日（水）運営部会（校友会事務室）平成8年度総会の反省と9年度の開催について

11月14日（木）編集部会（校友会事務室）会報（52号）の取材分担について

11月16日（土）記念募金常任委員会、会則規定改正小委員会 幹事会（ホテルエコーオーサカ）平成8年度総会の反省と報告について、平成9年度予算編成について

11月23日（祝）鹿児島県支部総会（ホテルタイセイアネックス）

11月29日（金）編集部会（京橋魚菜）会報（52号）発行スケジュールについて、平成9年度予算について
兵庫県但馬支部結成総会（和田山ホテル）校友会30番目として発足。支部長に岸本隆男氏（S43交機）選出

12月1日（日）運営部会（スリースリー）
平成9年度予算について

12月5日（木）支部推進部会（京橋魚菜）
平成9年度予算について

12月14日（土）幹事会（林林天山閣）
平成9年度予算について

平成9年

1月11日（土）記念募金常任委員会 幹事会（ホテルエコーオーサカ）
平成9年度予算原案決定

1月25日（土）大学支部総会（ツイン21東天紅）
支部長に松田充生氏（S45交機）選出

1月27日（月）運営部会（校友会事務室）第39回代議員会の運営と進行について

1月29日（水）編集部会（校友会事務室）会報凡友52号の出稿について

2月8日（土）記念募金常任委員会、会則規定改正小委員会、幹事会（ホテルエコーオーサカ）第39回代議員会の運営と進行について

2月15日（土）代39回代議員会（宝塚グランドホテル）平成9年度予算可決など

2月16日（日）第10回支部長会（宝塚グランドホテル）支部助成規定、記念募金について 討議

平成９年度 一般会計予算

（単位：千円）

収入の部	総務部	運営部	合計	備考
前期繰越金	4,000		4,000	
校友会費	58,000		58,000	9年度学生 20,000円×2,900名
会費収入	48	920	968	総会参加費
雑収入	100	215	315	利息・祝儀
計	62,148	1,135	63,283	

支出の部	総務部	運営部	編集部	支部推進部	合計
会議費	3,100	2,540	344	740	6,724
総会費		6,200			6,200
通信費	600	80		20	700
印刷費	330	450			780
会報費			15,044		15,044
備品費	150				150
旅費交通費	810	1,700	700	2,046	5,256
慶弔費	250				250
消耗品費	340				340
会員名簿費			3,245		3,245
記念品費	1,500	6,048		1,772	9,320
助成金		1,400		4,419	5.819
広報費				800	800
人件費	3,700				3,700
雑費	300	80	50	50	480
賃借費	620				620
福利費	450				450
予備費	2,405	1,000			3,405
計	14,555	19,498	19,383	9,847	63,283

特別会計（財政安定化基金）予算

（単位：円）

収入の部	平成7年度 基金	344,425,450
	平成7年度 剰余金繰入（一般会計）	25,442,838
	平成8年度 受取利息（見込み）	3,980,000
	平成9年度 受取利息（見込み）	3,000,000
	合計	376,848,288
支出の部	学園創立70周年記念事業募金	30,000,000
	合計	30,000,000
平成10年3月31日現在残高（予定）		346,848,288

おくやみ

堀之内 俊則氏（S44短自）
平成8年10月27日逝去 享年46歳

石田 大介氏（H6機械）
平成8年1月30日逝去 享年23歳

韮沢 広氏（S48交機）
平成8年10月29日逝去 享年46歳

和田 利博氏（S57経営）
平成3年逝去 享年32歳

会則改正

現在会則規定

1．第7章 幹事会（定足数）
第23条 幹事会の成立は、構成員3分の2以上の出席をもって成立する。
但し、書面をもって意志表示したものを出席者とみなす。
2．会費規程
第1条（目的）
この規程は、大阪産業大学校友会会則第5条の会費について定める。
第2条（会費）
会費は、20,000円とし、入学時に徴収する。
第3条（大学院入学生の扱い）
大学院入学生の会費は徴収する。但し、本大学院前期課程を修了し、後期課程へ進学する者は徴収しない。

改正

1．第7章 幹事会（定足数）
第23条 幹事会の成立は、構成員3分の2以上の出席（委任状によるものを含む）とする。
2．会費規程
第1条（目的）
この規程は、大阪産業大学校友会会則第5条の会費について定める。
第2条（会費）
会費は、20,000円とし、入学時に徴収する。但し、本学の大学院・大学・短期大学部間の編入学者など同一人からは再度徴収しない
第3条
徴収した会費は、理由のいかんを問わず返金しない。

平成９年度

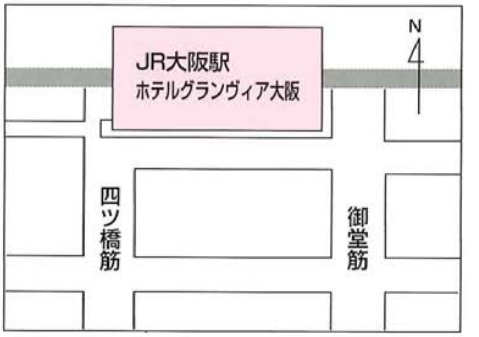
校友会総会パーティーのご案内

楽しさいっぱい
皆さん揃ってご参加を！

場　所： ホテルグランヴィア大阪

日　時： 平成９年10月26日（日）

●平成８年度卒業生は無料！
詳細は次号でご案内いたします。



交通のご案内

ホテルグランヴィア大阪は、
JR大阪駅構内と直結しています。

●新幹線「新大阪駅」より、JRで５分
●大阪空港より、お車で約20分
●関西新空港より、JR関空快速で約65分

編集後記

平成９年３月現在、校友会員の総数は41860名。その中で「凡友」の郵送先が判明しているのは37540名です。「凡友」をできるだけたくさんの会員に読んでいただき、いろんな情報をお届けするために、校友会事務局では郵送先の住所確認を行っています。返送されてくる「迷子の凡友」を出さないために、住所変更のご連絡をお願いします。

また、「凡友」を読んでいただく会員の年代も若年層から壮年層までたいへん幅広くなり、情報のニーズも多種多様な内容が要望されます。そのため、編集部では「凡友」の構成や内容、デザインについて発刊ごとに検討を重ねて対応しています。みなさまからのご要望を積極的に取り入れ、「凡友」をいっそう充実したいと考えていますので、ご意見・ご要望などがありましたらぜひ編集部までお寄せください。

（編集部　高見新一）

校友会総数41,860名
(平成8年12月末現在)

凡友(ぼんゆう)　第52号
大阪産業大学校友会会報

発行日　平成9年3月19日
発　行　大阪産業大学校友会
印　刷　関西廣済堂
〒574　大東市中垣内3−1−1
TEL　0720−75−3040（直通）
　　0720−75−3001（内線2830）
FAX　0720−75−0398
http://www.osaka-sandai.ac.jp/koyukai